

(様式 11)

2021 年 2 月 10 日

学 位 論 文 審 査 要 旨 (課程博士)

東京農工大学大学院工学府長 殿

審査委員 主査 ホンサトウ・ラクソチャレンサク
副査 毛利 宏
副査 田川 泰敬
副査 鎌田 崇義
副査 和田 正義

学位申請者	機械システム工学専攻 2017 年度入学 学籍番号 17833009
	氏 名 藤波 洋平
申請学位	博 士 (工 学)
論文題目	交差点右折時におけるリスク予測衝突回避システムの開発と検証 Risk Predictive Collision Avoidance System for Intersection Right Turn: System Development and Validation
論文審査要旨 (600~700 文字)	
<p>本論文では、自動車の交差点右折事故を未然に防ぐ自動車の予防安全技術に関するものである。具体的には、交差点右折時の衝突回避自動ブレーキの新しい拡張機能として、交差点内に死角が存在する場合、自動的に安全速度まで減速を行う安全機能について述べるものである。論文中には、本研究論文の位置づけ、安全速度の理論的算出方法を記述するとともに、コンピュータシミュレーションおよびモーション装置付きドライビングシミュレータを用いた運転支援システムの安全性評価、ドライバー受容性評価の解析結果をまとめた。</p> <p>第 1 章に現在の国内外の交通事故の現状ならびに、従来の交差点右折時の運転支援技術についてまとめ、第 2 章では対象とする場面における運転支援システムの構成、リスク予測手法および制御手法について述べ、第 3 章では提案手法のリスク予測の精度を向上するための経路予測手法について提案、その予測精度を評価する。第 4 章では提案手法の衝突回避性能の評価を、第 5 章では被験者実験によるリスク予測型運転支援の結果</p>	

(様式 11)

論文審査要旨

より受容性評価を行っている。第 6 章では提案したリスク予測手法の波及効果として、交差点右折以外での応用についてまとめている。これらの知見は交差点右折時の安全性向上に加え、市街地全体での自動車の予防安全技術研究の発展に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士(工学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

審査経過 (時系列)

2020 年 12 月 9 日	2021 年 3 月博士後期課程修了に係る学位申請
2021 年 1 月 13 日	審査委員の選出・指名・付議、論文審査委員の付託 (運営委員会)
2021 年 2 月 2 日	学位論文発表会
2021 年 2 月 10 日	本専攻内における博士学位取得要件

「1) a. 査読付き論文が 3 報以上採択されていること。それらのうち最低 1 報は定期刊行学術雑誌に掲載された査読付き論文でなければならない」

「2) 上記採択論文には、WoS 論文 1 報以上と筆頭著者論文 1 報以上が含まれること」

(投稿論文採択済み 3 報、うち WoS 論文 1 報、筆頭著者論文 3 報)

を満たしていることを確認の上、専攻会議で論文合格及び最終試験合格を承認。

2021 年 3 月 4 日	学位授与認定・修了認定 (運営委員会)
----------------	---------------------